

令和 7 年第 2 回東北町議会定例会会議録

令和 7 年 6 月 1 0 日（火曜日）午前 1 0 時 0 0 分開議

○議事日程（第 2 号）

日程第 1 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第 1 一般質問

◎一般質問

○議長（岡山粕男君） 日程第 1、一般質問を行います。

一般質問の通告は 3 名であります。

通告順に発言を許します。

2 番、斗賀高太郎議員は、一問一答方式による一般質問です。斗賀高太郎議員の発言を許します。

〔2 番 斗賀高太郎君登壇〕

○2 番（斗賀高太郎君） 皆様、改めましてこんにちは。2 番、斗賀高太郎です。通告に従いまして一般質問を行わせていただきます。

私のほうからは 2 点。まず 1 点目は、企業誘致についてです。近年スマートフォンの普及など、IT 化、IoT 化に伴い、データセンターの需要が増加し、サーバーの自然冷却などが見込める冷涼な気候や自然災害が少ない点などから、青森県を含む北海道、北東北地域が注目されていますが、誘致の一案としてデータセンターの誘致などはお考えでしょうか。

2 点目、定例議会についてです。現在若い世代を中心にテレビ離れが進む中、少しでも多くの町民の方々に議会がどのような議論をしているのかなど、関心を持ってもらうことが重要だと考えます。そのためには、いつでもどこでも見たいときに見られる環境が重要だと考えます。

そこで、現在行っている東北町テレビでの放送だけでなく、ユーチューブなどでのアーカイブ放送でいつでも視聴できるような体制づくりは可能でしょう

か。

以上２点です。よろしくお願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

〔町長 長久保耕治君登壇〕

○町長（長久保耕治君） それでは、２番、斗賀高太郎議員のご質問にお答えをいたします。

一般質問通告のありました質問事項１の企業誘致についてお答えをいたします。質問要旨の近年のＩＴ化、ＩｏＴ化に伴い、ＤＣ（データセンター）の需要が増加し、冷涼な気候や自然災害が少ない点などから青森県を含む北海道、北東北地域が注目されていますが、誘致の一案としてデータセンターの誘致などはお考えでしょうかについてであります。近年、社会や産業のデジタル化により、医療、教育、交通、農業など、様々な分野でデータを活用したビジネスとそれに関連した社会課題の解決が期待される中、データを収集し、処理する役割を担うデータセンターの重要性が高まっております。

日本国内のデータセンターは、東京圏や大阪圏域に集中しておりますが、斗賀議員がおっしゃるとおり、冷涼な気候や自然災害が少ない点などから青森県などの北東北地域が注目されていることにより、本町への誘致が実現すれば、建設や運用に携わる技術者だけでなく、周辺産業の関係者等にも雇用機会が生まれ、地域経済の活性化が大いに期待できると考えられます。

また、企業誘致により関係人口の増加が見込まれ、本町への訪問者が増えることにより観光業や様々な地域産業の活性化が促進されるとともに、特にＩＴ関連企業の誘致ということですので、若年層の雇用創出や定住促進が期待され、ひいては人口減少や少子化対策の一環となり得ると考えております。

このようなことから、データセンターの誘致は雇用創出や地域経済の活性化などに多大な影響を与え、地域発展の重要な要素となり得ることから、ぜひとも機会があれば企業の誘致について検討してまいりたいと考えております。

次に、質問事項２の定例議会についてお答えをいたします。質問要旨の東北町テレビでの放送だけでなく、ユーチューブなどでのアーカイブ放送でいつでも視聴できるような体制づくりは可能でしょうかについてであります。現在東北町テレビで放送している議会放送については、議会定例会及び臨時会の生

放送のほか、翌日に録画放送も行っておりますが、ユーチューブなどのアーカイブ放送ということであれば、録画放送という認識だと思いますので、発信が町内にとどまらないということで、様々な確認事項等が必要になると思いますが、視聴できるような体制は可能だと考えられます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ご回答ありがとうございます。

企業誘致についてですが、このデータセンターの誘致については、既に近隣市町村だと六ヶ所村で行っていると認識していますが、本町でも六ヶ所村に近い水喰小学校などを使った誘致などは考えておられませんかでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

誘致ということプラスアルファ、斗賀議員から廃校を利用するという、すばらしいご提案だなというふうに今伺いました。廃校の利活用、これはこのデータセンターの誘致のみならず、様々な検討していかななくてはならないと。とりわけ水喰の小中学校に関しては、比較的新しい学校だというふうに認識をしております。また、学校に関しては、校舎も大きい、そして敷地も広いということで、そういったハードインフラも整っているほかに、様々な、電力の供給、それから通信回線の整備が比較的簡単であるということです。実際に誘致するとなってもコストを割と低く抑えることができるという有利な面もございますので、機会があれば、例えばそういったことがあれば、こういった学校もありますよということでPRしていければなというふうに、今斗賀議員からのご指摘いただいた中で十分考えられるなど、いいことだなと思っておりますので、検討してまいりたいと思います。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。

ちなみになのですが、現在スマート農業に関するビッグデータとかのデータ処理についても、データセンターの誘致によって、より細かいデータの集積などが可能になり、効率的になっていくと思いますが、そちらに関してはどう思いますでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 当町の基幹産業である農業においても、様々な機械、例えばコンバイン、それから防除機、田植機であったり、トラクターにおいてもそういったＩＴ化が進んでいて、データでもって以前の作業等の振り返りができるようになっている。ドローンもそうだと思います。そういった形の中で、例えばちょっと地域が離れていても情報共有ができたり、お互い検討できるという部分では、そういったことはこれからの農業には大変必要になってくると思います。とりわけ天候不順であったり、様々な環境的側面に左右される、そういったパターンが多い第１次産業ですので、そういった部分でデータセンター等で中核を立てていくということは、大変農業の技術革新の向上にも期待できるのではないかなというふうにも考えているところでございます。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○２番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。

先ほどの町長の答弁にもありましたが、通常の企業誘致とは違いまして、データセンターなどはＩＴ関連の企業の誘致ですので、比較的若年層の雇用の創出であったりとか、定住促進が期待されますし、人口減少や少子化対策の一環ともなり得るのかなと考えられますが、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

斗賀議員のおっしゃるとおりだなというふうに思います。実際のところ、それでは東北町における雇用の状況はどうなのかというふうなことに目を向けてみますと、実際雇用のミスマッチが起こっているのではないのかなというふうに思っております。それは、若年層の方々にとってみると、自分が働きたい職場がないと、例えばＩＴ企業がなかったり、ホワイトカラーの職種が少ないと。しかし一方では、農業、建設業は、人材、人不足で、労働力不足で、外国人の研修生に頼らざるを得ないという状況があります。そういった部分のミスマッチの中で、しかしながら若年層をしっかり取り込んでいくという部分においては、新たなＩＴといった、まさに若い人たちが得意と思われる、そういった職

種が町にあるということは、地域づくりにもつながっていきますし、地域を持続可能にしていくことにもつながっていくと思いますので、そういったことはこれから積極的に進めていかなくتهはいけない事案であるというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。データセンターに限らずなのですけれども、IT関連の企業の誘致とかというのは非常に難しい面もあるのですが、誘致ができた場合、そこに付随して、そこでお仕事をする若者たちが知識を得て、またその地域で起業してみようかなという、雇用とか、そういうところ、産業に対する活性化というのは十分考えられるのかなと思いますので、ぜひこちらに関しても力を入れて、積極的な事業実施に努めていただきたいと思います。

続いて、2点目、定例議会についてなのですが、仮に実現するとなると、機材などに関わる経費等、課題とか何かございましたらお答えいただきたいと思います。

○議長（岡山粕男君） 企画課長。

○企画課長（林 博幸君） お答えいたします。

機材等の初期投資につきましては、さほどかからないと思いますが、ユーチューブなどで発信するということになれば、まず訂正や削除することは後々非常に困難であるというふうに認識しておりますので、発信前の編集作業での発言に対する確認作業、あとはそういう部分での人的費用と時間についてはかなりかかると思います。

以上、答弁いたします。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。議会終了後に確認作業等も非常に必要になってくるのかなと思うのですが、機材ではあまりコストはかからないということで、先ほど質問の中でもさせていただきましたが、いつでもどこでも、興味関心があったタイミングで見られるというのは非常に、町民の方々が関心を持っていただくタイミングというのは人それぞれだと思いますし、見たいタイミングというのもまた変わってきてしまうので、なるべくテレビで

見ていただきたいという気持ちもあるのですが、録画とかができるテレビをおうちで持っている方でないときには録画できないとか、いろいろそういった事情もあるので、こういったユーチューブでのアーカイブ、録画放送ですね、というのに対応していただければ非常にありがたいなと思っています。

また、町長としては、こういうアーカイブ放送というのはどういったお考えか、こういう放送に関してどういったお考えがあるか、最後に質問させていただきたいなと思います。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

私自身は、行政の長として、町のことをPRしていく、また町がどういうふうなことをこれから行っていこうとするのかということで番組を制作させていただいたり、町のいいところをPRするということで、私の権限でもって様々な番組に関しては担当課に指示を出してつくって、放映をさせていただいております。

事今回の斗賀議員のご質問であれば、議会ということになりますので、議員の皆さんでそういったことが可能かどうか、町としては議会が可能ですよということであれば、先ほどの答弁にもあるように、そういったことを進めていくという、技術的な部分だったり、物理的な部分は可能であるとの答弁をさせていただきましたので、ぜひとも議員の皆さんでいろいろと練っていただければと思っておりますので、ご理解賜りたいと思います。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。実現までには様々、議員間での話し合い等もありますし、いろいろ問題はあるかなと思うのですが、若い世代を中心に議会自体にも興味を持ってもらう機会を増やすというのは非常に重要なかなと思いますので、いつでも視聴できるような体制づくりができればなと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（岡山粕男君） これで2番、斗賀高太郎議員の一般質問を終わります。